

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 元年 7月 5日

東員町議会

議長 三宅 耕三 様

東員町議会

島田 正彦

研 修 報 告 書

研修期間	令和元年 6月 27日 (木) ～ 6月 28日 (金)【 2日間】
研修 (視察) 先	長野県軽井沢町・川上村
目的 (テーマ等)	<u>軽井沢町</u> ・議会とまちづくりを語る会 (議会報告会) の手法及び現状について ・通年議会導入による議会活動への影響について <u>川上村</u> ・教育施設 (中学校) 建設における補助金等の活用方法について
資料添付の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

(軽井沢研修)

全員協議会での視察・研修初日である。東員町議員14名全員出席。議会事務局からは3名、教育総務課から1名、総勢18名参加のもとで開催される。軽井沢町は夏でも平均気温は20度程度とこの気候を背景に避暑地として栄え、現在別荘は16229棟と数多く建てられている。[観光で地域を豊かにする]をスローガンに年間観光客数は870万人にも上る。町全体が訪れる人たちと溶け合うように、深夜営業も全て禁止し、また景観をそぐわない様、ガソリンスタンドもコンビニエンス、ドラッグストア等も地味な色合いで統一されている。今回の視察・研修の目的は議会基本条例の中での議会報告会の現状と平成22年3月通年議会を施行、翌年平成23年3月に基本条例制定させているが、それらのメリット・デメリットについての説明を聞く。当町も昨年度議会基本条例を検討し始めてから10数年余で、ようやく制定が出来た。本年度4月からは本格的に施行される運びになった。住民からはもっと透明性の高い、住民の意思が反映されるまちづくりの要望が大きくなってきている今、議会からの報告会と語る会は不可欠なものとなってきている。東員町も本格的には初めてとなる議会報告会を10月26日(土)に開催が決定した。詳細についてはこれから検討していくことになる。

いかにこれからこの報告会にて住民の声を吸い上げその要望を実現できるかにかかっている。あまり最初から拙速せずじっくりと構え分析することが重要。その反省点を2回目からの報告会に活かして少しずつ進展を図ればいいと思う。私も議会基本条例の講義は今まで7、8回傾聴し、近隣市町の議会報告会にも参加したことがあるが、どの議会も最初は右往左往していた様である。その様な状況の中で自分の市町に合う報告会、語る会などに進展していった形跡がある。

議会の常識は社会の非常識と言われたい様に、住民一人一人が参画できる議会を目指していきたい。また通年議会は議会の中で議員一人一人のコンセンサスを取り付けるまで少し時間をかけて協議をする必要があると考えている。他市町の状況をお聞きしそれらを参考にしてこの町東員町に合った報告会にしていきたいと思ひます。

(川上村研修)

研修2日目は長野県川上村を視察・研修訪問。川上村は人口4000人で、それ以外に外国人が約1000人程が農業関係に従事している。高齢化率は30.1%で東員町に近い数値になっている。事業所も村内には4カ所ほどしかなく、農業生産者が75%と農業中心の村で、広い農地を利用し高原野菜を中心に作っている。レタス・白菜はその中でも主要野菜となっている。特にレタスは全国シェア13.5%で全国一の生産量を誇る。

今回の訪問目的は、川上村中学校建設に当たり、国からの補助金を最大限引き出すことに成功した事例を東員町の中学校建設時に生かせないかのポイントを絞った研修である。

川上村中学校建設は時期的に平成19年、20年度と政局交代のタイミングでもあり、現在とは諸条件は異なるが、興味あるテーマである。

川上村中学校建設に当たり、中学校本体工事と音楽室・体育館工事をセパレートにして音楽室・体育館は中学校独自のものではなく、村民全体が利用できるものであるとして、少しでも高い補助金を捻出できるように、文部科学省・国土交通省にあらゆる知恵を結集して工事費全体の軽減を図られている。

又この建築にあたっては長野県3村(村有林交換プロジェクト)を立ち上げ、川上村は特産のカラマツ、根羽村はスギ・大桑村のヒノキと無償で連携を結び貸し合いができるシステムが構築されている。連携の重要性は昨今叫ばれてはいるがこの様にうまく連動しているのを見ると近隣市町とのあらゆる分野での連携の必要性を改めて痛感した。

職員の説明にもあったが今後の人口減の現実をふまえて仕事の担い手不足を補うために外国人労働者が増え続ける状況は10年後の市町の現状ではないだろうか。

東員町も第一中学校建設に当たり、白川村の様に首長自らが国交省、文部科学省など国に対して強いリーダーシップを持ってトップセールスに徹している姿には見習うべきことが多く感じた。東員町長にもこの川上村の様に県をはじめ、国政にまで出向いて補助金を少しでも多く捻出できる様な活動を積極的にして頂きたい。

議会もプロポーザブルの入札時から行政と一体となってこの建設を進めていく必要性を今回は特に強く感じます。このプロジェクトは絶対に失敗は許されない事業であるから。

